

## ○障がい者

**重点** 農福連携、超短時間雇用の導入で、多様な就労の機会を確保すること

**重点** 庁内研修の機会を拡充・発展させ、庁内雇用を実現すること

◎車いす利用者や視覚障がい者が、安心して歩ける歩道環境を整備すること

◎都営住宅を活用したグループホームを設置すること

◎移動支援事業やショートステイ事業は、報酬引き上げと人材確保により、利用者が確実に利用できる制度にすること

◎障がい者施設への防犯カメラ設置は、更新にかかる費用も補助対象に加えること

◎サービス等利用計画の報酬を引き上げるとともに、利用者の課題解決や自立支援に向けた内容となっているかを点検すること

## ○ひきこもり支援

**重点** 30代以降も利用可能な居場所と、社会参加の機会を創設すること

**重点** ひきこもり家族会の立ち上げを早期に進めること

**重点** 広域連携による学習会開催や、当事者支援の場づくりを早期に進めること

◎訪問による継続的な支援も行う、ひきこもり地域支援センターを設置すること

◎ひきこもり実態調査を行い、対象者・家族のニーズに寄り添う支援のしくみを構築すること

## ○女性

**重点** すべての施策に女性の視点を入れるため、審議会等政策決定の場に参加する女性の割合を増やすこと

**重点** 経済的困窮に陥っているシングルマザーや高齢女性への独自支援を行うこと

## ○子ども・若者施策

**重点** 市のあらゆる事業において、子ども参加と子どもの意見聴取を実現すること

**重点** ボール遊びのできる公園を増やすこと

**重点** 学校に行かれない子どもたちが出会い、学び、関わり合える拠点・サードプレイスの整備を公民連携で実施すること

**重点** 学生等応援特別給付金事業あるいはそれに代わる事業を、新年度の当初予算に計上すること

◎常設型のプレーパークをつくること

◎市の南部地域に、中高生をターゲットにした(仮称)児童センターを早急に設置すること

◎障がい児も一緒に楽しめるユニバーサルデザイン遊具を公園に導入すること

◎園庭のない保育園の公園利用実態調査を行い、要望を公園づくりに反映すること

## ○子育て支援

◎養育費確保支援事業の制度周知と丁寧な相談対応をすること

◎ひとり親支援に積極的に独自事業を行うこと